

「Tokyo U-12's way」～動きながら～

①観て判断する選手

・次のプレーを意識し、どのタイミングで、何（ボール・ゴール・味方・相手・スペース）を「観る」のかがわかる。

off the ballの場面で「観る」ことにより、判断を伴ったテクニックの発揮ができる。

②判断を伴ったテクニックの発揮をする選手（ファーストタッチの質・プレーの選択）

・左右同じようにボールを意のままに扱える確かな技術、ボールを簡単に失わない確かな技術、

・on the ballの場面で周りを「観る」ことのできる技術+ベースとなる確かな技術の定着。

・個人戦術の理解とプレーでの具現化→攻撃の優先順位、守備の優先順位

③攻守に関わり続ける選手

・「ボールに寄る」「パスしたら動く」「周りを観る」「ボールを奪いに行く」「off the ball での動きの質」

④積極的にコミュニケーションできる選手

・積極的に自分の考えを伝え、他者の思いを受けとめることができる選手を育てる。

⑤リスペクトの心をもてる選手

・勝利のために全力でプレーすることは大切であるが、「勝つためには手段を選ばない」という考え方を

断固排除することがフェアプレーの原点である。さらに相手・審判員・味方・競技役員・観客・競技場・施設・用具等に対しても、

リスペクトの心をもつことを徹底していく。

選考基準

・上記「Tokyo U-12's way」をベースとして

プラス@で特徴のある選手を第7ブロックトレセンに選出させて頂いております。